

委員会活動報告：報告書・雑誌編集委員会

[報告者]

認定特定非営利活動法人日本若手精神科医の会 副理事長

北海道立向陽ヶ丘病院 宮野史也

■委員会概要

我々の委員会では報告書や医学雑誌の編集・刊行作業を担っている。医学雑誌への連載や書籍出版等の刊行物を通し、JYPOの活動啓発や認知度の向上のみならず、偏見や差別のない精神医療の実現の一助となることを目的としている。

■CADP 報告書

これまで当委員会ではCADPの開催後に参加者へプログラム内容に関する活動報告の執筆依頼を行い、その内容の編集し、毎年6月頃に報告書を発行していた。例年、CADP初参加者がプログラムごとに活動報告の草稿を作成し、2回目以降の参加者がスーパーバイザーとして草稿の校正を行う。校正後の原稿を委員会で回収し、複数回に渡る校正の末に発刊に至る。報告書本文内容については体裁を整え、読みやすさやわかりやすさを向上させるため、作成にあたっては独自の記述マニュアルを設け、全体の統一感を持たせるよう工夫している。

参加者のみならず、各大学の精神医学講座、国立病院機構、研究機関等、約120の施設に送付している。日本精神神経学会学術総会等で頒布の機会をいただいている他、近年ではJYPOのホームページ上でも内容を公開している。

2020年度以降、COVID-19感染流行に伴い、対面での大会であるCADP実施が困難な状況になったことからオンラインイベントであるJOIN Meetingが開催されていたが、CADPと同様に報告書作成を行ってきた。

■医学雑誌、書籍

JYPOでは研修会やワークショップを通じて、若手精神科医を中心としたスキルの向上や知識の共有を目指している。当委員会では書籍メディアを通じて同様に啓発活動を行うことを目的としている。これまでに取り組んできた医学雑誌への連載投稿や書籍発行の活動実績については、下記のもの挙げられる。

- ・「学会発表の仕方」(精神科治療学 第28巻01号～12号, 2013)
- ・「現代精神医学の視点・論点」(臨床精神医学 第44巻4号～45巻6号, 2015)
- ・「ぼくらのアルコール診療」(南山堂、2015、日本プライマリ・ケア連合学会と共同作成)

最近ではJYPOの卒業生である中川敦夫先生に「学会発表の指導—効果的なオーラル・プレゼンテーションのために—」(精神科治療学 第35巻11号, 2020)という精神科臨床教育

をテーマとした論文記事にて、JYPO や CADP の活動について触れていただいた。

本委員会としても今後、書籍メディアを通じて JYPO の取り組みを広く普及していく所存である。

■メンバー構成

入來晃久(大阪精神医療センター 心の科学リサーチセンター)

新福伸久(北海道大学病院精神科神経科)

錫谷研(福島県立医科大学病院心身医療科)

濱本妙子 (三重県立心の医療センター)

宮野史也(北海道立向陽ヶ丘病院)